

事業番号	事務事業名	中学校交通安全補助金	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
00447	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	長石 和太
	施策名	42 交通安全・生活安全対策の推進	根拠法令等	地方自治法、交通安全対策基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 自転車通学の生徒(中学1年生)の安全を守ると共に、子育てを支援していくため、ヘルメットを購入した保護者に対し、1人当たり1,500円を補助する。 (業務の内容) 交付申請審査、交付決定、支払	自転車乗車中のヘルメット着用により、交通事故被害の軽減と、安全意識の高揚を図る目的で導入された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 町内中学校の生徒で、学校長の承認を受けて自転車通学する生徒	ア 中学校生徒数	人	見込 実績	308 308	313 313	313 313	313	313
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 中学校への通学時の安全を確保する	ア ヘルメット購入補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	80 80 100.0%	80 76 95.0%	80 87 108.8%	80	80 108.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助金交付申請を受け、審査、交付決定、補助金の支払	ア ヘルメット購入補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	80 80 100.0%	80 76 95.0%	80 87 108.8%	80	80 108.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 08		大事業 中事業					事業番号	
	一般会計		総務費		総務管理費		交通安全対策費		04 01 中学校交通安全補助金						
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	168	144	150	140	167	6	一般財源	120	114	131	140	167	17		
合計	168	144	150	140	167	6	合計(A)	120	114	131	140	167	17		
財源名称	従事正職員人数						1	2	1	1	1	-1			
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10				
	人件費計(千円)(B)						34	35	33	34	34	-2			
最終予算額		150千円		予算執行率		87.3%		トータルコスト(A+B)		154	149	164	174	201	15
主な支出事業内容(予算)	補助金						150千円								
	主な支出事業内容(決算)						補助金						131千円		

事業番号	00447	事務事業名	中学校交通安全補助金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
自転車は通学だけでなく、買物やレジャーの手段など、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に多様な用途で利用されており、自転車に関連する交通事故も増加傾向にある。平成20年6月に改正された道路交通法により、保護者に対する児童・幼児の自転車乗用時ヘルメット着用義務化、更に平成25年12月から自転車の路側帯右側通行禁止などルール改正が行われている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特になし

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	自転車通学する生徒が安全に通学するために必要であり、購入費の補助によりヘルメットの普及率の向上につながり、万が一事故にあった際のけがなどの予防につながる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	中学生の自転車通学をしている者の安全を確保するための補助金であり、公益性はある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	ヘルメットの普及、事故に遭った際の怪我の予防につながるから適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 説明	ヘルメットの着用普及を行っており、中学校による交通安全教室も実施されているためヘルメットの普及及び交通安全啓発は目標に達している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない	理由 説明	中学生の自転車通学をしている者の安全を確保するための補助金であり、公益性はある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由 説明	町以外に実施している機関がない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	補助対象の認定基準を細かく策定すれば事業費の削減は可能だが、通学者及び自転車に乗る際の安全確保の観点から削減はできない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	必要最低限の人員で事務をしており削減の余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	毎年度入学する自転車通学者に対して定額を交付しており、公正である。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	自転車通学者が安全に通学するために必要であり、購入費の補助によりヘルメットの着用が普及し、事故の際の怪我の軽減が図れる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 現在は、特に意見等もないため現状を維持する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
なし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							